

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

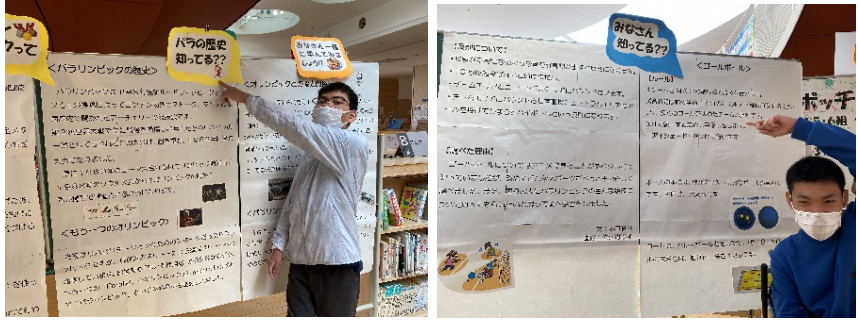
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【福島県立郡山支援学校】

1 実践テーマ	(I)・(II)・III・IV・(V)(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	高等部 1 学年 19名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (学校祭「四つ葉祭」) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	パラリンピックの歴史を知り関心を高め、自ら興味を持ったパラスポーツの競技種目について調べ学習を行い、保護者や他学部 の児童生徒への発表やパラスポーツの体験活動を通してパラリ ンピックの歴史やパラスポーツの楽しさを知り、パラリンピック についての興味関心を高める。
5 取組内容	(1) イベントに向けた看板を作成した。 (2) イベント（四つ葉祭）において、保護者や他学部の児童 生徒にパラリンピックについての話や興味をもった競技に ついて説明をした。

	 (3) 学校祭イベント（四つ葉祭）において、保護者や他学部の児童生徒と、ボッチャを通しての交流や車いすバスケットボールの体験活動を行った。 
6 主な成果	・パラリンピックを新聞やテレビ等の報道で観たことで、興味・関心をもち調べ学習に取り組み、パラリンピックの意義や歴史を知ることができた。 ・調べた事を発表したり、保護者や他学部の児童生徒に対して競技の説明をしたりすることで、パラ競技に対する理解を深めることができた。また、相手に分かるように競技の説明することで「おもてなしの心」を学ぶことができた。 ・保護者や普段あまりかかわりのない他学部の児童生徒との交流戦を通して、コミュニケーションを広げることができた。
7実践において工夫した点（事業の特色）	・「学校祭」（四つ葉祭）における「イベント」として実施し、伝える活動や体験活動を取り入れた。
8主な課題等	・新型コロナウイルス感染対策として、どこまで交流や体験ができるか等の調整をして進めることが必要である。
9来年度以降の実施予定	・保健体育科の授業の中だけでなく、児童生徒の実態に合わせたルールの変更をして、パラスポーツをより身近に楽しめる活動（レクリエーション）の一つとして取り組めるようにしていく。